No.	事業名	貢献度	優先度	総合評価	総合評価の考え方	改善点
1	並行在来線対策事業	A	A	市:現状維持	利用促進を図りながら、会社並びに県への要望活動を進めること。	並行在来線開業を見据え、引き続き利用促進を図っていく。また、要望についても、適時会社・県へ伝えていく。
2	生活交通確保対策補助事業	B	C	市:業務改善	通院、通学等の交通手段を確保するため、実情に応じた対応に努めること。 能生～労災線については、特別交付税も考慮し、調整を進めること。	利用促進PRと効率的なダイヤ編成により、乗車密度を高め、特交も配慮した一般財源の削減に努める。 労災線は、上越市の運行費補助がある限り継続したい。